平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報処理D(Information ProcessingD)	授業コード	C175151
担当教員名	濱田　大助		
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	1
履修上の注意または履修条件	この科目で学習する内容は以後履修するネットワーク、データベース関連科目の基礎となる大切な内容が数多く含まれています。理解を確実なものとするために、授業以外の時間の予習復習も欠かさずに行ってください。		
受講心得	この科目は学生が次の目標を達成できることをめざしています。授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、これらの目標が達成できるように学習を進めてください。 システム開発に関する基礎知識を理解する。 業務知識に関する基礎知識を理解する。 基本情報技術者試験(システム開発分野)の午前問題を自力で解答できる。 基本情報技術者試験(業務知識分野)の午前問題を自力で解答できる。 なお欠席した学生はその授業で出された課題の回答、レポートの提出はできません。 コンピュータを使用するIDとパスワードを確認しておく。 体調不良の場合は遠慮せず申し出ること。 教室内では以下の事項を禁止します。 ・飲食、喫煙、緊急以外の携帯電話操作 ・指示をしていない「話し合い」 ・講義に関係の無いサイト、漫画、雑誌の閲読 ・他の講義の演習課題の作業等 ・その他、直接講義と関係の無い事項 ・帽子、サングラス、イヤホン(PC接続含む)の着用		
教科書	「栢木先生の基本情報技術者教室」 栢木　厚 著　技術評論社		
参考文献及び指定図書	やさしく学ぶ基本情報技術者2005年度版　高橋麻奈 著　翔泳社 過去問基本情報技術者 午前試験　柴田望洋 著　ソフトバンク		
関連科目	(後修科目) 情報システム1、情報システム2、ソフトウェア工学、ソフトウェア工学演習 先修・後修に関係なく関連性の高い科目) 情報処理A、情報処理B、情報処理C、経営学入門、ビジネス会計、情報メディアとビジネス、情報メディアと法・倫理、eビジネス経営論、プロジェクトマネジメント論		

授業の目的	この科目の目的は、情報処理に関する基礎的な知識のうち、システム開発と業務知識の分野に関する基礎知識を理解することです。具体的には、「開発手法」、「設計手法」、「プログラミング言語」、「テスト」、「開発環境」、「開発管理」、「システムの運用と保守」、「データベース」に関する基礎的な知識を学習します。この科目の到達目標は、基本情報技術者試験(経済産業省)の午前問題を解答できるようになることです。
授業の概要	教科書を中心に講義および演習を進めます。過去問題を多く目にすることで目的を完遂する可能性が高くなります。自ら考え、インターネットの情報の取捨選択の必要性に気が付くようにします。 ビデオ教材でイメージしにくいシステム開発の現場の様子から自らの進路を明確になるようにします。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： 講義のガイダンスと各種調査	教科書の6章・8章を使用していきます。各段落のトピラを確認しておきましょう。
第2週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-1 システム開発手法	WEB資料(学内のみ) 演習課題・解答例
第3週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-2 DFDとE－R図	WEB資料(学内のみ) 演習課題・解答例
第4週：	

次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-3 画面設計とデータ設計	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第５週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-4 コード設計と入力チェック	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第６週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-5 モジュール分割	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第７週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-6 構造化プログラミング	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第８週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 6-7 オブジェクト指向	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第９週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 後半に6章を中心とした理解度調査を行います。 6-8 テスト手法	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第10週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 8-01 データベース	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第11週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 8-02 関係データース	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第12週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 8-03 正規化	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第13週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 8-04 SQL(基本)	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第14週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 8-05 SQL(並べ替え・グループ化)	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第15週： 次の教科書の内容を中心に講義・演習を行います。 8-06 バックアップとデータベース復旧	WEB資料（学内のみ） 演習課題・解答例
第16週：期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は90分とします。筆記用具以外のすべての持ち込みは不可です。（あらかじめアナウンスする対応を希望する学生を除く。）	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
備考	課題は毎次メールにて提出します。 題名等様式に沿っていないものは不可とします。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	システム開発・データベース部門の演習を様式に沿い提出できる。
【知識・理解】	システム開発の手法、流れおよびコード化など基礎知識の理解ができる。 データベースの種類、関係データベースの構造、SQL言語の理解ができる。

【技能・表現・コミュニケーション】	自らの言葉で思考のプロセスを文章化する。
【思考・判断・創造】	情報のコード化、正規化、SQLの思考・判断ができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点		
【知識・理解】 ※「専門能力（知識の獲得）」を含む。	65点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力（知識の活用）」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	毎回、講義中に授業内容について課題を出します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	提出された課題のうち、優れた解答をした者は、加点することがあります。